事例No.	2447
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	丹生谷 清流座

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・人材確保・育成 ・地域運営組織

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

人形浄瑠璃で地域に恩返し～温故知新　伝統を受継ぎ新たな創造へ～

出典

平成29年度優良事例表彰一覧

丹生谷　清流座

総務大臣賞

人形浄瑠璃で地域に恩返し
～温故創新　伝統を受継ぎ新たな創造へ～



青年団が中心となり人形浄瑠璃座を結成。伝統芸能の継承、農村舞台など地域資産を活用した事業を行い、地域の活性化に寄与する。

事例の概要



農村舞台公演での出演前の丹生谷清流座のみなさん。

山間地域にある那賀町では、過疎・高齢化が進み、産業はもとよりさまざまな伝統文化活動においても後継者不足が深刻な状況であった。

そのような中、町内に残る人形浄瑠璃用の農村舞台が全国一多いこと、町内に唯一存在する人形座が高齢化により存続が危ぶまれている現状を知り、地元青年団が中心となり人形浄瑠璃座「丹生谷清流座」を結成した。人形浄瑠璃を通して、伝統芸能の継承のみならず、農村舞台をはじめとする地域が守ってきた歴史的文化資源に新たな価値を見出し、地元住民と連携し活用することで、地域の魅力を高め、交流人口の増加に寄与している。

人形浄瑠璃公演を農村舞台で行う最大の効果は、公演の開催に際し、地域住民が行政や県内外の人形座、芸術家などと連携・協力し、これまで使われていなかった農村舞台を復活させる過程において、地域コミュニティの再生につながっていることが挙げられる。

現在では、県や町などの行政機関とも連携し、農村舞台の新たな可能性を求め、人形浄瑠璃のみならず、音楽イベントや杜の中のレストランとしての活用など、新たな可能性を追求している。

評価のポイント

徳島県には氏神を祭る神社の境内に設けられた「農村舞台」が今も各地に存在している。多くは明治時代に建てられ、集落の住民の娯楽の場として人形浄瑠璃などが演じられてきた。徳島県那賀町はその農村舞台が最も現存している地域で、約４０棟に上る。

一方で、肝心の人形浄瑠璃の人形遣いは高齢化しており、存続が危ぶまれていた。その中で、町の青年団が中心となって２００９年に設立したのが「丹生谷 清流座」である。現在１４人の座員がおり、仕事や家事などと両立させながら月２回程度、プロの指導も受けながら練習を続け、演目を増やしている。

清流座は現在、農村舞台で年６回程度の公演を開催しているほか、徳島交響楽団との共演や福祉施設への訪問など様々なイベントに参加している。その結果、地元で唯一の高校である那賀高校に人形浄瑠璃部が発足し、１６年度の卒業生のなかから２人が清流座に加入した。フェイスブックを通じて練習風景や公演の模様を発信し、新たなファンづくりにも努めている。

清流座は徳島の伝統芸能である人形浄瑠璃の継承に貢献しているだけでない。新たな担い手集団の活躍に触発され、神社の氏子の寄付で老朽化した農村舞台を改築する動きが広がっている。使われていなかった農村舞台の「復活」の過程はまさに、地域コミュニティの再生と呼べるだろう。

農村舞台での公演は基本的に無料で行っていることもあり、活動費の多くを県や町の補助金に頼っている点は課題といえるものの、丹生谷 清流座の存在は地域の伝統的な資源に焦点を当てることで、住民を巻き込みながら集落を活性化させている好例といえるだろう。杉やケヤキに囲まれ、神々しい雰囲気も漂う農村舞台の維持活用は日本の伝統的な村落共同体の歴史を語り継いでいくうえでも重要なだけに、今後の一層の活躍を期待したい。



教育機関等と連携してワークショップを行うなど、浄瑠璃に触れ合う機会を創出し積極的・継続的に後継者育成に努めている。



徳島交響楽団と共同で、従来の太夫・三味線による伴奏をクラシックの演奏に置換え人形浄瑠璃を行った。異色の組み合わせに、クラシックファンからも好評をいただいた。



農村舞台公演時には、地元住民の方々が特産品や農産物、飲料などを販売し出演者と一体となって公演を盛り上げている。

DATA　徳島県 那賀町（なかちょう）

団体名▶丹生谷 清流座
所在地▶〒771-5406　徳島県那賀郡那賀町延野字王子原31-1
連絡先▶TEL：0884-62-0382
E-mail：seiryuza@gmail.com

【交通のご案内】
自動車▶徳島ICから国道55号線・195号線で約1時間30分
鉄　道▶JR牟岐線桑野駅、桑野駅から徳島バス乗車
延野で下車すぐ
飛行機▶徳島阿波おどり空港から車で約1時間45分



▶国勢調査人口（単位：人）

市町村名	昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
那賀町	23,279	14,360	11,893	10,695	9,318	8,402

▶人口増減率（単位：%）

市町村名	H27/S35	H27/S55	H27/H12	H27/H17	H27/H22
那賀町	-63.9	-41.5	-29.4	-21.4	-9.8

▶高齢者・若年者比率（H27年）（単位：%）

市町村名	高齢者比率	若年者比率
那賀町	46.9	7.1